

図8 生鮮食品指数の動き

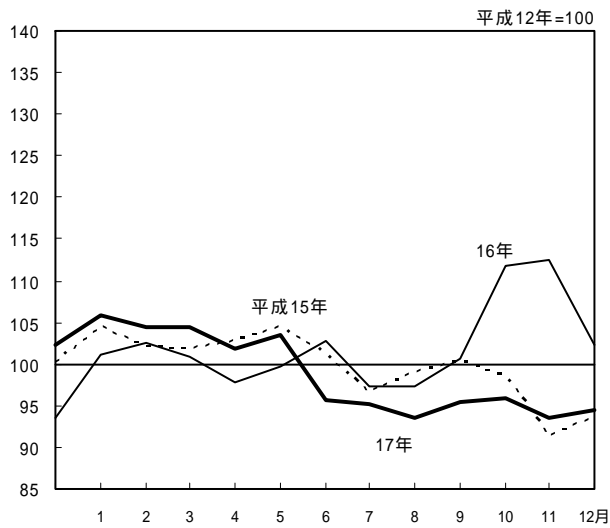


表4 食料の中分類別前年比の推移

中分類	平成15年	平成16年	平成17年	寄与度
食料	%	%	%	
穀類	-0.2	0.9	-0.9	-0.25
(うるち米)	1.4	3.7	-6.6	-0.16
魚介類	3.7	9.0	-12.9	-0.14
肉類	-1.9	-1.2	-0.6	-0.02
(生鮮肉)	0.8	2.9	1.9	0.04
乳卵類	1.3	3.8	1.7	0.03
(卵)	-1.0	0.4	2.2	0.02
野菜・海藻	-4.6	4.1	14.0	0.03
果物	2.1	3.1	-4.2	-0.13
油脂・調味料	0.5	3.7	-0.8	-0.01
菓子類	-2.3	-1.3	-0.7	-0.01
調理食品	-0.3	0.4	0.1	0.00
飲料	-0.6	-0.1	0.5	0.01
酒類	-2.6	-2.3	-1.8	-0.03
外食	-0.8	-0.9	-0.1	0.00
(一般外食)	-0.1	0.9	0.1	0.01
生鮮食品	-0.1	1.0	0.0	0.00
生鮮魚介	0.7	2.5	-3.4	-0.16
生鮮野菜	-2.6	-1.3	-1.8	-0.03
生鮮果物	4.0	5.3	-6.5	-0.13
生鮮果物	0.8	3.8	-0.7	-0.01

注1) 寄与度は総合指数変化率への寄与度である。

注2) () 付きは小分類指数または品目別指数を表している。

(表4~13, 表15~17, 表21まで同じ)

(2) 住居は99.7となり、前年に比べ0.1%の下落となった。

内訳をみると、設備修繕・維持は0.4%の下落となった。

なお、家賃は前年と同水準となった。(図9, 表5, 14)

図9 住居指数の動き

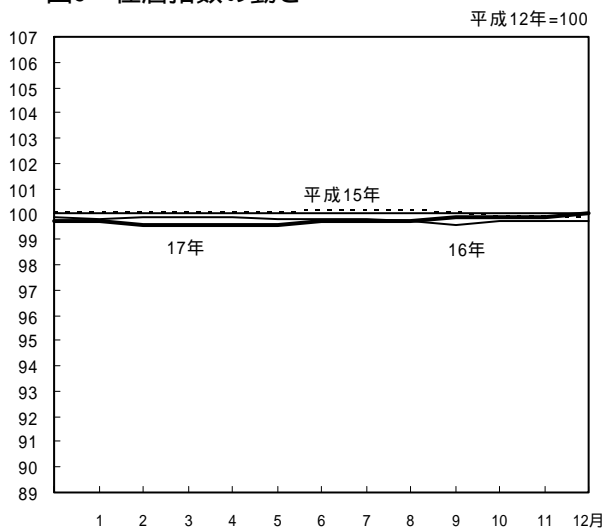


表5 住居の中分類別前年比の推移

中分類	平成15年	平成16年	平成17年	寄与度
住居	%	%	%	
家賃	-0.1	-0.2	-0.1	-0.02
(民営家賃 (木造小住宅))	0.1	-0.2	0.0	0.00
(民営家賃 (木造中住宅))	-0.3	-0.1	0.1	0.00
(民営家賃 (非木造小住宅))	0.1	-0.1	0.0	0.00
(民営家賃 (非木造中住宅))	-0.2	-0.9	-1.0	-0.01
(公営家賃 (非木造中住宅))	-0.5	-0.4	-0.4	-0.01
(公営家賃 (持家の帰属家賃))	-1.6	-2.0	-0.4	0.00
(持家の帰属家賃)	0.1	-0.2	0.2	0.03
設備修繕・維持	-0.9	-0.6	-0.4	-0.01
(設備材料)	-2.3	-2.1	-0.9	0.00
(工事その他の サービス)	-0.6	-0.3	-0.3	-0.01
持家の帰属家賃を除く住居	-0.6	-0.5	-0.3	-0.02
持家の帰属家賃を除く家賃	-0.3	-0.4	-0.3	-0.01

(3) 光熱・水道は99.8となり、前年に比べ0.8%の上昇となった。

内訳をみると、原油価格の高騰により他の光熱は23.5%の上昇、上下水道料は0.5%の上昇となった。一方、電気代の料金改定により電気・ガス代は1.1%の下落となった。(図10、表6、14)

図10 光熱・水道指数の動き

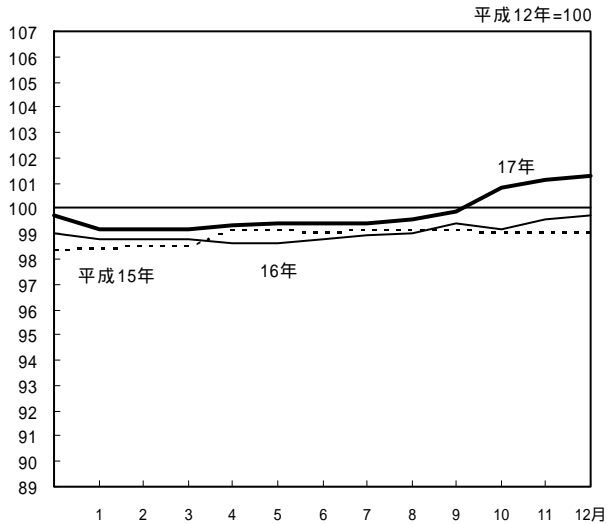


表6 光熱・水道の中分類別前年比の推移

中 分 類	平成15年	平成16年	平成17年	寄与度
光 熱 ・ 水 道	%	%	%	
電 気 ・ ガ ス 代	-1.3	-0.4	-1.1	-0.05
電 気 代	-2.1	-0.5	-2.4	-0.07
ガ ス 代	0.0	-0.2	0.8	0.01
(都市ガス代)	-0.2	-0.6	0.1	0.00
(プロパンガス)	0.2	0.3	1.5	0.01
他 の 光 熱	5.1	3.6	23.5	0.10
(灯 油)	5.1	3.6	23.5	0.10
上 下 水 道 料	0.6	0.6	0.5	0.01
(水 道 料)	0.3	0.4	0.1	0.00
(下 水 道 料)	0.9	1.2	1.3	0.01

(4) 家具・家事用品は85.1となり、前年に比べ2.3%の下落となった。

内訳をみると、家庭用耐久財は4.2%の下落、室内装備品は2.9%の下落、寝具類は1.9%の下落、家事雑貨は0.9%の下落、家事用消耗品は3.0%の下落となった。一方、家事サービスは0.5%の上昇となった。(図11、表7、14)

図11 家具・家事用品指数の動き

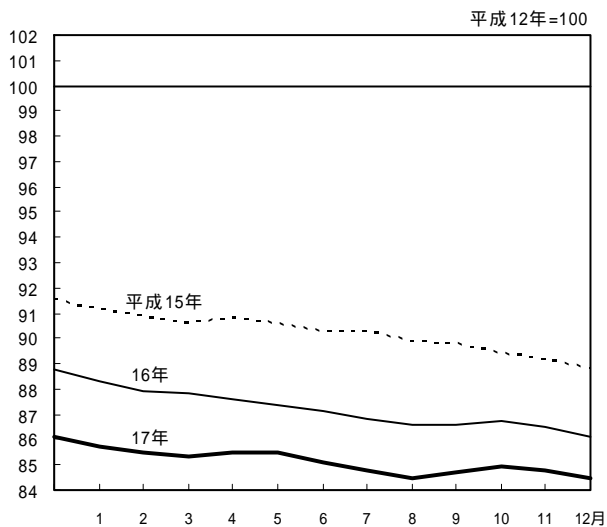


表7 家具・家事用品の中分類別前年比の推移

中 分 類	平成15年	平成16年	平成17年	寄与度
家具・家事用品	%	%	%	
家庭用耐久財	-7.6	-8.4	-4.2	-0.04
(家事用耐久財)	-11.8	-10.0	-6.1	-0.02
(冷暖房用器具)	-5.9	-11.1	-4.4	-0.01
(一般家具)	-1.8	-1.7	-0.9	0.00
室内装備品	-3.4	-3.8	-2.9	-0.01
寝 具 類	-2.3	-1.9	-1.9	-0.01
家 事 雑 貨	-1.4	-1.1	-0.9	-0.01
家事用消耗品	0.7	-1.5	-3.0	-0.02
家事サービス	0.3	0.5	0.5	0.00

(5) 被服及び履物は94.3となり、前年に比べ0.7%の上昇となった。

内訳をみると、衣料は1.5%の上昇、シャツ・セーター・下着類は1.2%の上昇となった。一方、履物類は1.5%の下落、生地・他の被服類は0.7%の下落となった。

(図12, 表8, 14)

図12 被服及び履物指数の動き

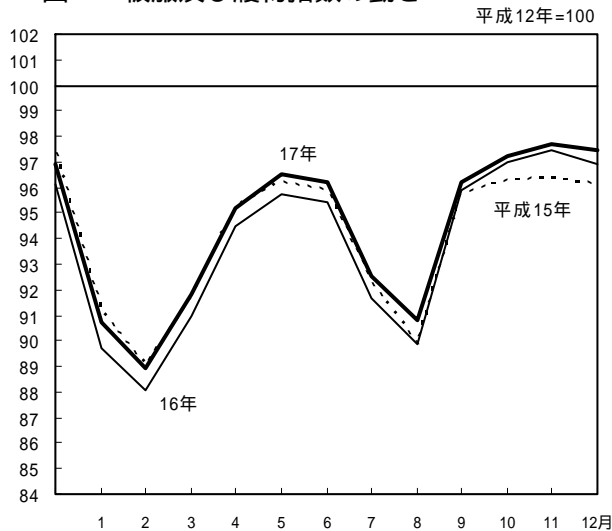


表8 被服及び履物の中分類別前年比の推移

中分類	平成15年	平成16年	平成17年	寄与度
被服及び履物	%	%	%	
衣料	-1.9	-0.2	0.7	0.04
和服	-2.6	-0.5	1.5	0.04
洋服	-2.2	0.1	0.0	0.00
(男子洋服)	-2.6	-0.5	1.6	0.03
(婦人洋服)	-1.7	-0.4	1.9	0.01
(子供洋服)	-2.4	-0.5	2.3	0.03
シャツ・セーター・下着類	-5.3	-1.5	-1.6	0.00
シャツ・セーター類	-2.1	0.4	1.2	0.02
(男子シャツ・セーター類)	-3.0	0.7	1.3	0.01
(婦人シャツ・セーター類)	0.2	0.5	0.5	0.00
(子供シャツ・セーター類)	-5.1	0.7	1.9	0.01
下着類	-0.1	0.8	0.4	0.00
履物類	-0.2	0.1	0.9	0.00
生地・他の被服類	-0.9	-0.8	-1.5	-0.01
生地・糸類	-0.2	-0.3	-0.7	-0.01
他の被服	-2.5	-1.7	-1.9	0.00
被服関連サービス	0.2	-0.4	-1.5	-0.01
	-0.2	0.2	0.4	0.00

(6) 保健医療は102.5となり、前年に比べ0.4%の下落となった。

内訳をみると、医薬品・健康保持用摂取品は0.4%の下落、保健医療用品・器具は1.4%の下落、保健医療サービスは0.1%の下落といずれも下落となった。(図13, 表9, 14)

図13 保健医療指数の動き

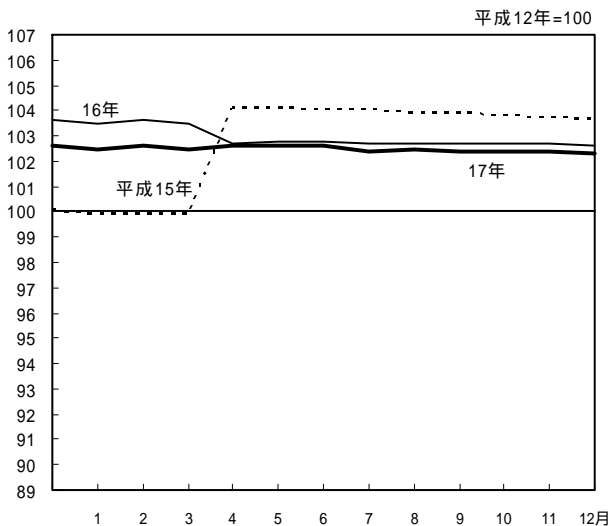


表9 保健医療の中分類別前年比の推移

中分類	平成15年	平成16年	平成17年	寄与度
保健医療	%	%	%	
医薬品・健康保持用摂取品	3.4	0.0	-0.4	-0.02
保健医療用品・器具	-0.6	-0.5	-0.4	0.00
保健医療サービス	-2.7	-2.0	-1.4	-0.01
(診療代)	7.7	0.9	-0.1	0.00
(出産入院料(国立))	9.2	0.9	-0.4	-0.01
(出産入院料(公立))	2.1	1.6	3.5	0.00
	0.0	0.2	0.7	0.00

(7) 交通・通信は98.7となり、前年に比べ0.3%の上昇となった。

内訳をみると、原油価格の高騰によりガソリンの値上がりが見られた自動車等関係費は2.9%の上昇となった。一方、前年の11月及び本年の1月に料金改定のあった固定電話通信料などの通信は6.8%の下落となった。

なお、交通は前年と同水準となった。(図14, 表10, 14)

図14 交通・通信指数の動き

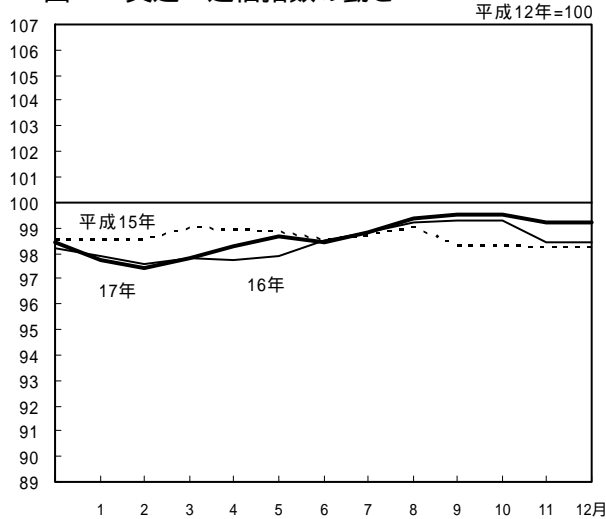


表10 交通・通信の中分類別前年比の推移

中分類	平成15年	平成16年	平成17年	寄与度
交通・通信	%	%	%	
交通	0.1	-0.2	0.3	0.04
(鉄道運賃)	0.2	0.2	0.0	0.00
(鉄道運賃(JR))	-0.2	-0.2	0.0	0.00
(鉄道運賃(JR以外))	0.1	0.0	0.2	0.00
(バス代)	0.0	0.0	-0.1	0.00
(航空運賃)	1.4	3.2	-0.1	0.00
自動車等関係費	0.0	0.1	2.9	0.22
(自動車)	-0.2	-0.4	0.5	0.01
(ガソリン)	2.4	6.2	10.7	0.20
(自動車保険料)	0.4	0.0	5.8	0.02
(自賠責)				
通信	-0.1	-1.2	-6.8	-0.19
(固定電話通信料)	0.0	-1.2	-10.9	-0.18
(移動電話通信料)	0.0	-0.6	-0.1	0.00
鉄道運賃	0.0	-0.2	0.1	0.00
(普通運賃)	0.0	0.0	0.0	0.00
(通学定期)	0.1	0.0	0.1	0.00
(通勤定期)	0.1	0.0	0.2	0.00

注1) (ガソリン)は「ガソリン(レギュラー)」、「ガソリン(プレミアム)」を合成したものである。

2) 鉄道運賃は「鉄道運賃(JR)」、「鉄道運賃(JR以外)」を合成したものである。

(8) 教育は104.1となり、前年に比べ0.7%の上昇となった。

内訳をみると、授業料等は0.7%の上昇、補習教育は0.7%の上昇となった。一方、教科書・学習参考教材は0.1%の下落となった。(図15, 表11, 14)

図15 教育指数の動き

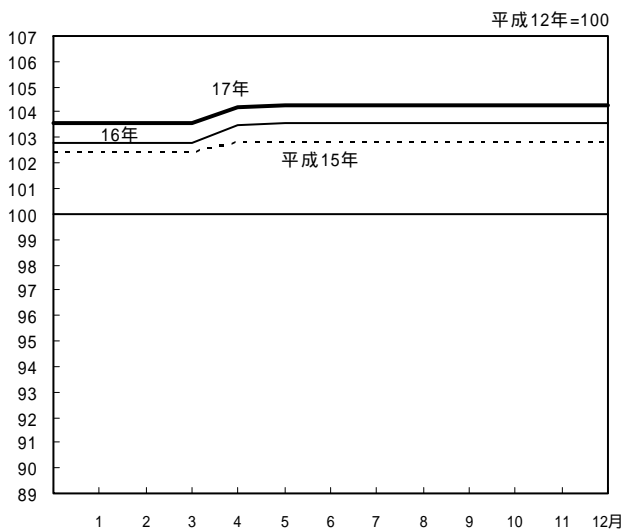


表11 教育の中分類別前年比の推移

中分類	平成15年	平成16年	平成17年	寄与度
教育	%	%	%	
授業料等	0.6	0.7	0.7	0.03
(PTA会費)	0.9	0.7	0.7	0.02
(授業料)	0.3	0.8	0.4	0.00
教科書・	1.1	0.7	0.7	0.02
学習参考教材	-0.4	-0.4	-0.1	0.00
補習教育	-0.3	0.5	0.7	0.01

注1) (PTA会費)は「PTA会費(小学校)」、「PTA会費(中学校)」を合成したものである。

2) (授業料)は「私立中学校授業料」、「公立高校授業料」、「私立高校授業料」、「国立大学授業料」、「私立大学授業料」、「私立短期大学授業料」を合成したものである。

(9) 教養娯楽は91.4となり、前年に比べ0.9%の下落となった。

内訳をみると、教養娯楽用耐久財は12.3%の下落、教養娯楽用品は0.9%の下落、教養娯楽サービスは0.1%の下落となった。一方、書籍・他の印刷物は0.4%の上昇となった。(図16, 表12, 14)

図16 教養娯楽指数の動き

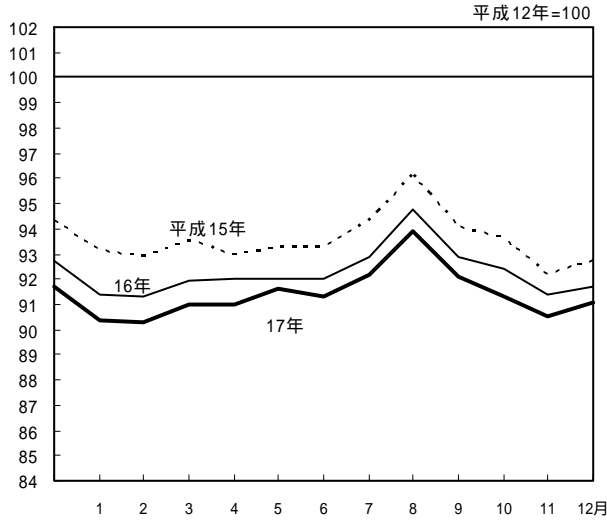


表12 教養娯楽の中分類別前年比の推移

中 分 類	平成15年	平成16年	平成17年	寄与度
	%	%	%	
教 養 娯 楽	-1.5	-1.4	-0.9	-0.09
教養娯楽用耐久財	-13.8	-12.3	-12.3	-0.07
(テレビ)	-10.9	-9.3	-10.7	-0.02
(パソコン (デスクトップ型))	-26.1	-27.2	-29.8	-0.02
(パソコン (ノート型))	-29.1	-28.5	-28.5	-0.01
(パソコン用 プリンタ)	-	-18.6	-28.6	-0.01
教 養 娯 楽 用 品	-2.0	-1.8	-0.9	-0.02
書籍・他の印刷物	0.2	0.5	0.4	0.01
教養娯楽サービス	0.0	-0.5	-0.1	-0.01

(10) 諸雑費は101.8となり、前年に比べ0.3%の上昇となった。

内訳をみると、理美容サービスは0.2%の上昇、身の回り用品は1.4%の上昇、10月の介護保険制度改正の影響により値上がりした通所介護料などのその他は1.5%の上昇となった。一方、理美容用品は0.9%の下落となった。

なお、たばこは前年と同水準となった。(図17, 表13, 14)

図17 諸雑費指数の動き

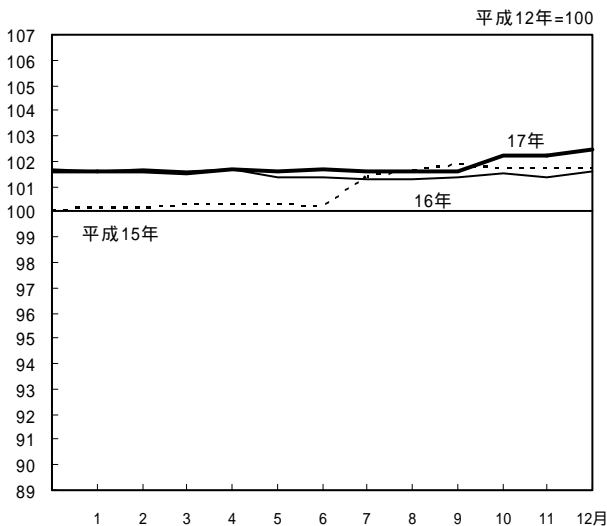


表13 諸雑費の中分類別前年比の推移

中 分 類	平成15年	平成16年	平成17年	寄与度
	%	%	%	
諸 雑 費	0.9	0.6	0.3	0.01
理美容サービス	0.0	0.2	0.2	0.00
理美容用品	-1.5	-1.0	-0.9	-0.01
身の回り用品 (ハンドバッグ (輸入品))	14.7	2.5	4.2	0.01
た ば こ	4.1	3.9	0.0	0.00
そ の 他 (通 所 介 護 料)	-0.3	0.0	1.5	0.01
	-3.5	-1.2	14.8	0.01

表14 10大費目指数 月別

平成12年 = 100

月	総合	生鮮食品	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	娯楽	養楽	諸雑費
		を除く											
指数	平成17年 1月	97.6	97.2	99.6	99.7	99.2	85.7	90.7	102.5	97.7	103.6	90.4	101.6
	2	97.4	97.1	99.5	99.6	99.2	85.5	88.9	102.6	97.4	103.6	90.3	101.6
	3	97.7	97.4	99.5	99.6	99.2	85.3	91.8	102.5	97.8	103.6	91.0	101.5
	4	97.9	97.7	98.9	99.6	99.3	85.5	95.2	102.6	98.3	104.2	91.0	101.7
	5	98.2	97.9	99.2	99.6	99.4	85.5	96.5	102.6	98.7	104.3	91.6	101.6
	6	97.7	97.8	97.9	99.7	99.4	85.1	96.2	102.6	98.4	104.3	91.3	101.7
	7	97.6	97.7	97.8	99.7	99.4	84.8	92.5	102.4	98.8	104.3	92.2	101.6
	8	97.7	97.9	97.4	99.7	99.6	84.5	90.8	102.5	99.4	104.3	93.9	101.6
	9	98.0	98.1	97.8	99.9	99.9	84.7	96.2	102.4	99.5	104.3	92.1	101.6
	10	98.1	98.2	97.9	99.9	100.8	84.9	97.2	102.4	99.5	104.3	91.3	102.2
	11	97.8	98.0	97.4	99.9	101.1	84.8	97.7	102.4	99.2	104.3	90.5	102.2
	12	98.0	98.1	97.5	100.0	101.3	84.5	97.5	102.3	99.2	104.3	91.1	102.5
前月比 (%)	平成17年 1月	-0.5	-0.8	0.5	0.0	-0.5	-0.5	-6.4	-0.1	-0.7	0.0	-1.4	0.0
	2	-0.2	-0.1	-0.1	-0.1	0.0	-0.2	-2.0	0.1	-0.3	0.0	-0.1	0.0
	3	0.3	0.3	0.0	0.0	0.0	-0.2	3.3	-0.1	0.4	0.0	0.8	-0.1
	4	0.2	0.3	-0.6	0.0	0.1	0.2	3.7	0.1	0.5	0.6	0.0	0.2
	5	0.3	0.2	0.3	0.0	0.1	0.0	1.4	0.0	0.4	0.1	0.7	-0.1
	6	-0.5	-0.1	-1.3	0.1	0.0	-0.5	-0.3	0.0	-0.3	0.0	-0.3	0.1
	7	-0.1	-0.1	-0.1	0.0	0.0	-0.4	-3.8	-0.2	0.4	0.0	1.0	-0.1
	8	0.1	0.2	-0.4	0.0	0.2	-0.4	-1.8	0.1	0.6	0.0	1.8	0.0
	9	0.3	0.2	0.4	0.2	0.3	0.2	5.9	-0.1	0.1	0.0	-1.9	0.0
	10	0.1	0.1	0.1	0.0	0.9	0.2	1.0	0.0	0.0	0.0	-0.9	0.6
	11	-0.3	-0.2	-0.5	0.0	0.3	-0.1	0.5	0.0	-0.3	0.0	-0.9	0.0
	12	0.2	0.1	0.1	0.1	0.2	-0.4	-0.2	-0.1	0.0	0.0	0.7	0.3
前年同月比 (%)	平成17年 1月	-0.1	-0.3	0.5	-0.1	0.4	-2.9	1.1	-1.0	-0.2	0.8	-1.1	0.0
	2	-0.3	-0.4	-0.1	-0.3	0.4	-2.7	0.9	-1.0	-0.2	0.8	-1.1	-0.1
	3	-0.2	-0.3	0.1	-0.3	0.4	-2.8	0.9	-1.0	0.0	0.8	-1.0	-0.1
	4	0.0	-0.2	0.1	-0.3	0.7	-2.4	0.7	-0.1	0.6	0.7	-1.1	0.0
	5	0.2	0.0	0.2	-0.2	0.8	-2.2	0.8	-0.2	0.8	0.7	-0.4	0.2
	6	-0.5	-0.2	-1.5	-0.1	0.6	-2.3	0.8	-0.2	-0.1	0.7	-0.8	0.3
	7	-0.3	-0.2	-0.7	-0.1	0.5	-2.3	0.9	-0.3	0.0	0.7	-0.8	0.3
	8	-0.3	-0.1	-1.1	0.0	0.6	-2.4	1.0	-0.2	0.2	0.7	-0.9	0.3
	9	-0.3	-0.1	-1.2	0.3	0.5	-2.2	0.3	-0.3	0.2	0.7	-0.9	0.2
	10	-0.7	0.0	-2.8	0.2	1.6	-2.1	0.2	-0.3	0.2	0.7	-1.2	0.7
	11	-0.8	0.1	-3.4	0.2	1.5	-2.0	0.2	-0.3	0.8	0.7	-1.0	0.8
	12	-0.1	0.1	-1.6	0.3	1.6	-1.9	0.6	-0.3	0.8	0.7	-0.7	0.9